福島県立医科大学 学術機関リポジトリ

Title	編集後記
Author(s)	荒川, 唱子; 中山, 仁; 鈴木, 千衣; 高瀬, 佳苗; 伊藤, 由里子; 清水, 昌美
Citation	福島県立医科大学看護学部紀要. 12: 64-64
Issue Date	2010-03
URL	http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/115
Rights	© 2010 福島県立医科大学看護学部
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2024-04-19T18:20:22Z

Fukushima Medical University

編　集　後　記

今年度に行ったことといえば，紀要の投稿規程を見直して変更したことである．それゆえ，第12号は新しい投稿規程になり初めての発刊となった．掲載されたのは，研究論文２編及び資料２編であった．研究論文には和文と英文の要旨が掲載されているが，これは投稿規程が変更してから可能になったのである．資料２編は，委員会で適当と認めて掲載した．それ以外に海外研修報告１編と公開講座報告１編，さらに本年度に学部で開催されたウズベキスタンとの学術交流会や第12回日本医学英語教育学会に関する報告が加わり興味深い構成となった．とくにウズベキスタンとの交流会では，来訪して下さったウズベキスタンからの３名の方々と本学の教員及び学生たちがともに交わる機会となり国際交流の場としてふさわしいといえるものであった．また，医学英語教育学会も本学部で開催された貴重な大会であった．医学英語を用いた海外での豊富な経験が語られ国際色に溢れていたといえる．これら以外の学部の変化といえば２階にある実習室Ｃが「クリニカル・スキルラボ　ベーシック」として部分的に使用できるようになったことである．また，現在，カリキュラムを検討中であるが，一段落した後にはどのような形でか報告できるものとして期待しておきたい．

今年度は紀要委員会の新メンバーでスタートして２年目であり，「査読に関する申し合わせ事項」を作成した．学部の活動が反映できるように，紀要委員全員が協力して活動していけるように課題があればそれを出しあって解決していきたいと考えている．（荒川唱子）

紀要委員長　荒川　唱子
紀 要 委 員　中山　　仁
鈴木　千衣
高瀬　佳苗
伊藤由里子
清水　昌美

平成22年３月発行

福島県立医科大学 **看護学部紀要** 第12号

発行者　福島県立医科大学看護学部
〒960-1295　福島県福島市光が丘１番地
電話　024-547-1111